社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

ニセコ町のコミュニティ活性化と安全・安心な街づくり（第4回変更）

平 成 ２ ８ 年　３ 月 ２ ３ 日

北 海 道　ニ セ コ 町

社会資本総合整備計画

平成 28 年 3月23日

計画の名称	ニセコ町のコミュニティ活性化と安全・安心な街づくり		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	ニセコ町

計画の目標

賑わいとコミュニティ活性化に寄与する施設・情報等基盤の整備と安全・安心で美しい街づくりの推進
目標1　活気と賑わいをもたらす各種交流の促進と地域コミュニティの活性化にむけた既存ストックの再生
目標2　昼夜通した安全・安心を支える環境に優しい街づくりの推進
目標3　コミュニティの活性化や地域情報の受発信を支える情報通信ツール・基盤の整備とそれらを活用した事業の分析

計画の成果目標（定量的指標）

・コンベンション（町民）センター施設の年間利用者数を24,330人/年（H21）から29,200人/年（H27）に増加
・情報通信ツール・基盤整備の従前・従後における地域の情報通信環境に対する満足度等を50とする（H27）
・街路灯のLED化の従前・従後における昼夜間を通した安全・安心に対する満足度等を50とする（H27）

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H21)(H22)(H22)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	備考
コンベンション（町民）センター施設の年間利用者数	24,330人／年		29,200人／年	
情報通信ツール・基盤整備の従前・従後における地域の情報通信環境に対する満足度等	43.6		50	
街路灯のLED化の従前・従後における昼夜間を通した安全・安心に対する満足度等	44.5		50	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	９９２百万円	A	９５８百万円	B		C	３４百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	21.2%

交付対象事業

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-A-1	都市再生	一般	ニセコ町	直接	ニセコ町	ニセコ市街地区都市再生整備計画	高次都市施設・既存建造物活用事業他	ニセコ町						958	
						（上記のうち基幹事業）								(782)	
						（上記のうち提案事業）								(176)	
											合計			958	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
											合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

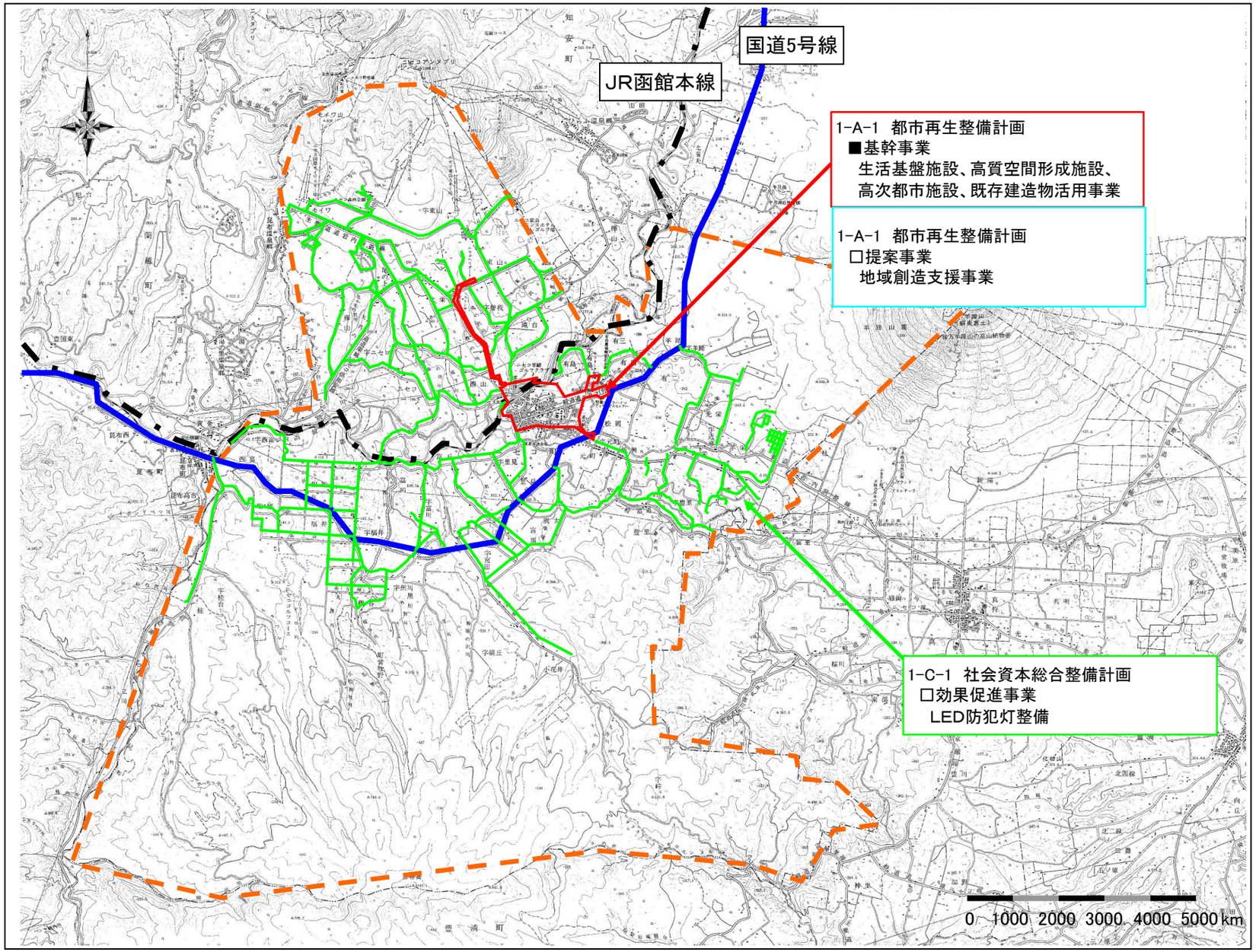
C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-C-1	施設整備	一般	ニセコ町	直接	ニセコ町	ＬＥＤ防犯灯整備	ＬＥＤ防犯灯250基整備	ニセコ町						34	
											合計			34	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	都市再生整備計画内で整備する中心市街地(1-A-1)とあわせて、中心市街地以外の地域でもＬＥＤ防犯灯を整備することにより、全町における安全・安心で環境に優しい街づくりを実現する。	

（参考図面）市街地整備

計画の名称	ニセコ町のコミュニティ活性化と安全・安心な街づくり		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	ニセコ町



凡例：

	社会資本総合整備計画 都市再生整備計画(基幹事業)
	社会資本総合整備計画 都市再生整備計画(提案事業)
	社会資本総合整備計画 効果促進事業
	ニセコ町の行政区域
	都市再生整備計画区域
	1-C-1　LED防犯灯設置箇所 （250基）

都市再生整備計画

ニセコ市街地区（第7回変更）

北海道ニセコ町

平成28年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	ニセコ町	地区名	ニセコ市街地区	面積	158.6 ha

計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度

目標

賑わいとコミュニティ活性化に寄与する施設・情報等基盤の整備と安全・安心で美しい街づくりの推進

目標1　活気と賑わいをもたらす各種交流の促進と地域コミュニティの活性化にむけた既存ストックの再生

目標2　昼夜通した安全・安心を支える環境に優しい街づくりの推進

目標3　コミュニティの活性化や地域情報の受発信を支える情報通信ツール・基盤の整備とそれらを活用した事業の分析

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■町の現況

ニセコ町は、馬齢諸に代表される畑作や稲作を中心とした農業とアンヌプリ山麓に広がるスキー場を中心とした観光が主な基幹産業となっている。以前は、JRニセコ駅を中心とした街並みとして中心市街地が栄えていたが、一般国道5号を幹線とした交通ルートの整備やJRの特急や急行の廃止などにより市街地の衰退が進んだ。

また、過疎地域に見られる人口減少と高齢化により地域経済の衰退を招き、社会基盤整備や環境対策、福祉対策、教育対策など整備も老朽化に伴い不安定な状況にある。

■まちづくりの経緯

ニセコ町は、アンヌプリ山麓へ通じるニセコ大橋建設に伴い、本通市街地の整備（都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」や北海道知事賞）による、街並み修景の統一や電線地中化事業などの整備を図った。また、H15年には、住宅のあり方について住宅マスタープランやH16年ストック総合活用計画を策定し、今後の公営住宅整備を位置づけるなど先進地事例として取り上げられるほどに至った。（さわやか公住賞や全面的改善事業では全国ではじめての偉業を遂げた）

しかしながら、都市再生を図るためには、中心市街地である様々な主要施設の整備を図る目的から、道道整備による拡幅工事による歩道整備・地域住民との交流拠点の整備・地域情報の受発信施設の整備・スポーツ・教育をコミュニティ拠点とする施設の整備など、すべての住民が小さいながらも世界に誇れる町として安心して暮しやすい「環境のまち」を目指している。

課題

・以上のようなまちづくりの経緯と現況から整理される都市再生の課題は以下のとおりです。

①道道の改良事業に伴う中心地区の活性化（活気とにぎわいの創出）のため、既存ストックを活用した『町内外の人が活用できるコンベンション拠点』の整備が課題である。

②観光客に対する“地域住民との交流”という新たな魅力を提供するとともに、地域住民の“地域文化をテーマとする新たな交流”のための拠点を確保するため、『近代化遺産的施設を活用した観光客と地域住民の文化交流拠点』の整備が課題である。

③地域住民の“スポーツをテーマとする日常的な交流”のための拠点を確保するため『既存施設（運動公園など）を活用した運動拠点の充実』が課題である。

④様々な交流やコミュニティの活性化を促進するため、『地域情報の受発信を支える情報通信ツール・基盤の整備』が課題である。

⑤観光客等の中心地での活動やライフスタイルの多様化に対応するため、『日中だけではなく、夜間においても安全・安心で環境に優しい街づくりのための防犯灯の施設高度化』が課題である。

⑥賑わいとコミュニティ活性化に寄与する施設・情報等基盤の整備と安全・安心で美しい街づくりの推進にむけ、『町民によるまちづくり活動の支援』が課題である。

将来ビジョン（中長期）

・現行の第4次ニセコ町総合計画では、これからのニセコの姿を『小さな世界都市ニセコ』とし、小さいながらも、世界に誇れる暮らしやすさを実感できる「環境のまち」を目指すことにしている。

・その実現にむけては、「美しい景観を生かし育むまち」、「自然環境と調和した経済社会を持つまち」、「相互扶助のコミュニティがあるまち」、「子どもたちの笑顔が輝くまち」、「住むことに誇りが持てるまち」を将来像としている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
コンベンションセンターの利用者数	人/年	コンベンション（町民）センター施設の年間利用者数	コンベンションセンターを整備することにより交流拠点機能の向上を図り、年間利用者数の2割増を目指す。	24,330	平成21年度	29,200	平成27年度
地域の情報通信環境に対する評価	ｱﾝｹｰﾄによる%	情報通信ツール・基盤整備の従前・従後における地域の情報通信環境に対する満足度等	コミュニティFM整備、公衆無線LAN設置を図り、整備の従前従後における情報通信環境に対する評価軸の創出を図る。	43.6	平成22年度	50	平成27年度
昼夜間を通した安全・安心に対する評価	ｱﾝｹｰﾄによる%	防犯灯のLED化の従前・従後における昼夜間を通した安全・安心に対する満足度等	道道ニセコ停車場線歩道整備事業とあわせて、防犯灯のLED化を図り、その従前従後における昼夜間を通した安全・安心に対する評価軸の創出を図る。	44.5	平成22年度	50	平成27年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
○活気と賑わいをもたらす各種交流の促進と地域コミュニティの活性化にむけた既存ストックの再生 ・ニセコ町民センター（既存ストック）を活用し、新たな町内外の交流拠点であり、環境にやさしい施設として再整備し、国際的会議に対応できる機能強化を図る。 ・ニセコ駅前の倉庫群を対象に、新たな交流・コミュニティ拠点として再開発し、町内外の観光・交流の拠点として活用する。 ・ニセコ町におけるスポーツ振興を促進させるため、総合体育館と運動公園野球場の機能を向上させ、スポーツ拠点としての強化を図る。	高次都市施設(基幹事業：ニセココンベンションセンター整備事業) 地域生活基盤施設(基幹事業：ニセコ駅前倉庫群多目的広場整備事業) 既存建造物活用事業(基幹事業：ニセコ駅前倉庫群整備事業) 地域創造支援事業(提案事業：総合体育館機能向上事業) 地域創造支援事業(提案事業：運動公園機能向上整備事業)
○昼夜通した安全・安心を支える環境に優しい街づくりの推進 ・現防犯灯の水銀灯を、環境にやさしく、積雪荷重に対応したLED灯に取り替え、維持経費の削減と環境保全を図りながら昼夜間の安全・安心な街づくりを進める。	高質空間形成施設(基幹事業：LED防犯灯整備事業)
○コミュニティの活性化や地域情報の受発信を支える情報通信ツール・基盤の整備とそれらを活用した事業の分析 ・コミュニティFM局を設置し、観光情報や防災情報、地域コミュニティ情報などの提供を充実させる。 ・事業の効果についてはコミュニティFM等を活用して分析し、社会資本整備総合交付金評価委員会で総合的に評価する。	地域創造支援事業(提案事業：コミュニティFM局設置事業)

その他

○交付期間中の計画管理について

・各事業実施に伴う課題の整理及び調整については、常設しているまちづくり委員会において検討を行うとともに、事業終了後の評価は社会資本整備総合交付金評価委員会を設置して行う。

・事業の進捗状況や成果については、広報誌や各種まちづくりに関する委員会を活用し随時住民に周知を行う。

○事業終了後の継続的まちづくりについて

・（H24.3.13策定済み）第5次ニセコ町総合計画に基づいた事業展開を行う。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	958	交付限度額	383.2	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路														
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		ニセコ駅前倉庫群	ニセコ町	直		平成25年度	平成27年度	平成25年度	平成27年度	62	62	62		62
高質空間形成施設		ニセコ市街地	ニセコ町	直		平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	35	35	35		35
高次都市施設		ニセココンベンションセンター	ニセコ町	直		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	508	508	508		508
既存建造物活用事業		ニセコ駅前倉庫群	ニセコ町	直		平成23年度	平成27年度	平成23年度	平成27年度	177	177	177		177
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										782	782	782	0	782 …A

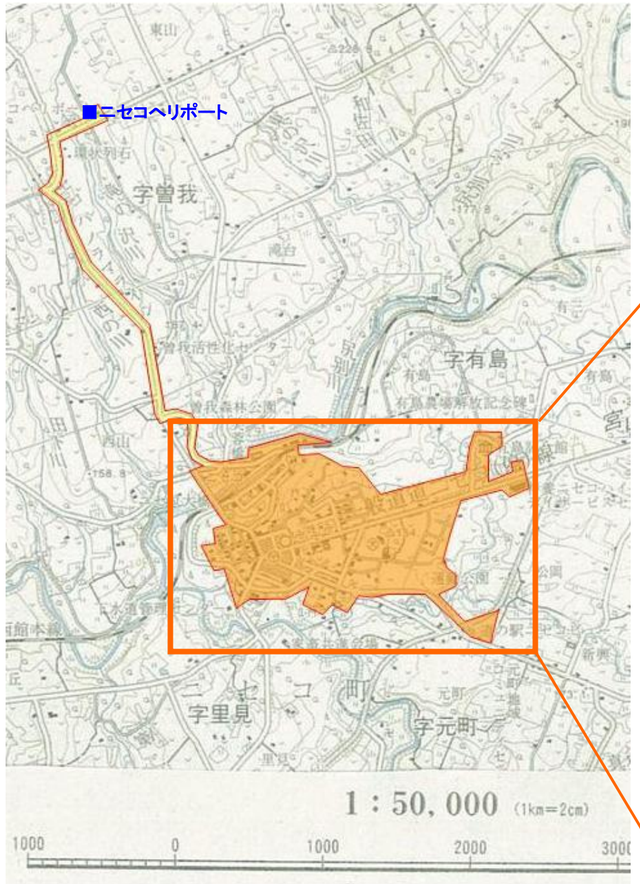
提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	総合体育館機能向上事業	ニセコ町総合体育館	ニセコ町	直		平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	28	28	28		28
	運動公園機能向上事業	ニセコ町運動公園	ニセコ町	直		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	50	50	50		50
	コミュニティFM局設置事業	ニセコ市街地	ニセコ町	直		平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	98	98	98		98
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										176	176	176	0	176 …B
													合計(A+B)	958

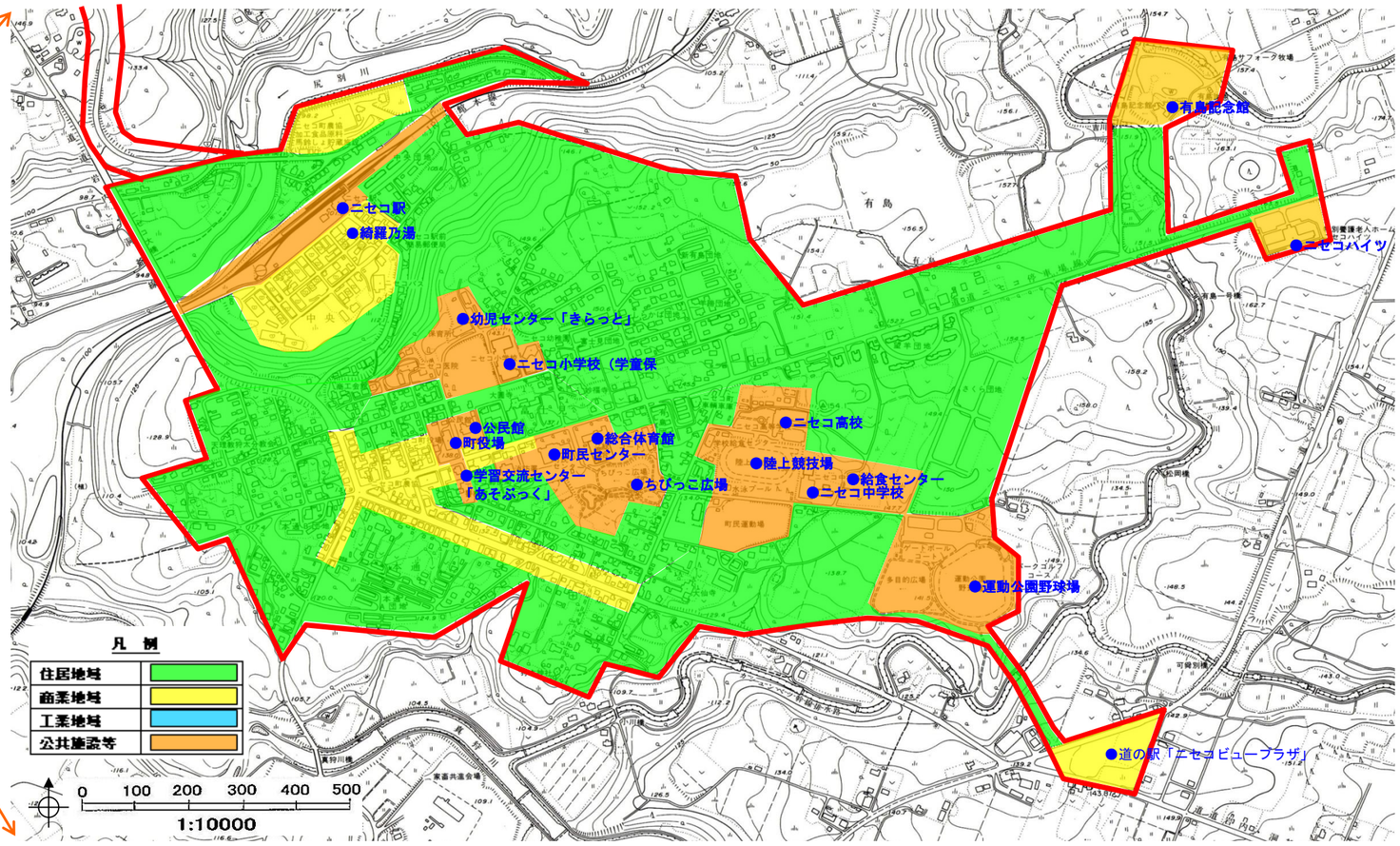
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
道道ニセコ停車場線歩道整備事業	道道792号線	北海道	北海道	L＝1,000m		○			平成22年度	平成28年度	300
公衆無線LAN設置事業	有島記念館他2箇所	ニセコ町	ニセコ町		○				平成25年度	平成27年度	1
合計											301

ニセコ市街地区（北海道ニセコ町） 現況図

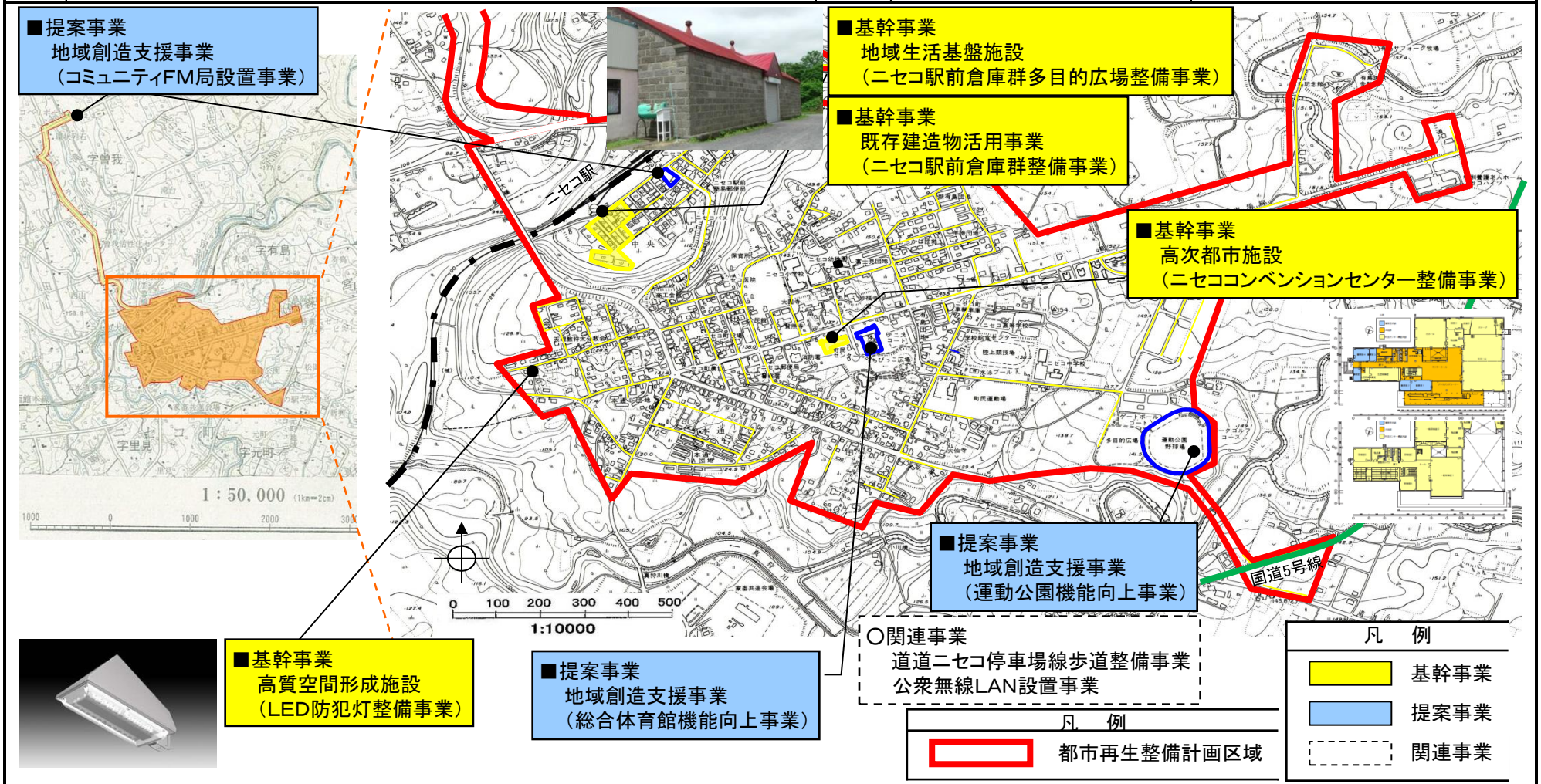


区域図



拡大図

ニセコ市街地区（北海道ニセコ町） 整備方針概要図

目標	賑わいとコミュニティ活性化に寄与する施設・情報等基盤の整備と安全・安心で美しい街づくりの推進 目標1　活気と賑わいをもたらす各種交流の促進と地域コミュニティの活性化にむけた既存ストックの再生 目標2　昼夜通した安全・安心を支える環境に優しい街づくりの推進 目標3　コミュニティの活性化や地域情報の受発信を支える情報通信ツール・基盤の整備とそれらを活用した事業の分析

代表的な指標					
コンベンションセンターの利用者数	（人／年）	24,330	（21年度）	→	29,200 （27年度）
地域の情報通信環境に対する評価	（%）	43.6	（22年度）	→	50 （27年度）
昼夜間を通した安全・安心に対する評価	（%）	44.5	（22年度）	→	50 （27年度）